



「きづな」の力

▼家族が見守る中、力を合わせて一生懸命綱を引く子どもたち



第12回伊賀市長杯綱引大会兼 伊賀市綱引選手権大会（2月5日）

阿山B&G海洋センターで第12回伊賀市長杯綱引大会兼伊賀市綱引選手権大会が開催されました。

この大会は地域、世代を超えてふれあいを持てる機会をつくろうと毎年開催されるものです。試合は、「一般男子の部」「男女混合の部」「小学生の部」「幼児の部」の部門ごとに行われ、参加したチームはそれぞれ力の入った試合を繰り広げていました。

▶この日は10チームが参加し、綱引きを通して地域の絆を深めました。



▼選手たちはお互いに声をかけ合いながら力いっぱい綱を引いていました。



私たちが創る未来の伊賀市

2017 地方創生高校生ワークショップ （2月5日）

伊賀市役所本庁舎で、2017 地方創生高校生ワークショップを開催しました。

これは、若者の市外への転出や人口減少といった課題を解決するため、伊賀の将来を担う高校生とともに伊賀のこれからについて考えるために企画されたものです。

この日は、市内4校から1・2年生の生徒14人が参加し、伊賀市や自分たちの将来について考える日となりました。

▶生徒たちの発表した意見を聞いた後、市長がそれぞれに対して講評しました。



▲4つのグループに分かれて、伊賀市の魅力や将来の仕事にまつわる2つのテーマについて話し合いました。

◀グループでの話し合いの意見内容を発表する生徒



新しいスポーツに挑戦

カローリングセミナー（2月11日）

青山小学校体育館で、カローリングセミナーが行われました。

カローリングは、氷上のスポーツであるカーリングをヒントに生まれたインドアスポーツで、ジェットローラと呼ばれる車輪のついた円盤を投げ、ポイントゾーンの中心に最も近い位置にジェットローラを停止させたチームが勝ちとなります。

参加者は、ルールなどの説明を聞いた後、実際にカローリングを体験しましたが、なかなか思ったところに投げられず、苦心しながらも熱心に取り組んでいました。



◀カローリングのポイントゾーンとジェットローラ



▲投げ終わると得点を数えて、▲狙いを定めてジェットチームの勝敗を判定します。ローラを投げる参加者



春を呼ぶ伝統行事

しゅしやうえ 正月堂の修正会 (2月11・12日)

観菩提寺で「正月堂の修正会」が行われました。修正会は約1260年の歴史をもつと言われ、県の無形民俗文化財に指定されています。

11日には、五穀豊穰と厄除を祈る「練り込み」という行事が行われ、節句之頭と呼ばれる7つのグループがそれぞれ供物を持ち、威勢のいいかけ声を上げながら本堂まで練り歩きました。



おにがしら
◀正月堂に納められた鬼頭

- ▶雪の降る中、練り込みを見ようと多くの人が集まりました。
- ▼大人に負けじと子どもたちも威勢よく練り歩きました。



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など



本紙 15 ページの「献血」について、わかりやすく解説します。



こども広場 「大切な献血」

血液は人工的に

つくるのができない

血液は、酸素や栄養を体中に運んだり、体を細菌やウイルスから守ってくれる大切なものです。

私たちの周りには、病気の

治療や手術などで血液を必要とする人が

たくさんいます。そのような人たちに血液を補う治療方法を輸血とい

います。輸血は同じ血液型の血液でないと

できません。

しかし、血液は、まだ人工的につ

ることができないので、自分の血液を誰かに分けてあげる献血が必要なのです。

献血した血液は大切に保管されます

献血は、まちなかなどにある献血ルームや移動できる献血バスなどです

とができます。

献血された血液は、血液センターに

運ばれ、輸血を受ける患者さんの安全を守るために、血液型やウイルスがないかなどを調べる検査をします。そ

して、成分ごとに分けて目的にあった輸血用血液製剤をつ

つ

つ

つ

つ

輸血用血液製剤をつ

くり、冷蔵庫などで保管管理しています。

血液センターでは、輸血が必要とな

った患者さんのために、24時間365日

対応しています。

献血は命を守るボランテア

献血は、血液のすべての成分を採血

する全血献血(200ml献血、400

ml献血)と、血液中の一部の成分を採

血する成分献血があります。例えば、

200ml献血であれば、男女ともに16

歳からすることができます。

しかし、若い人たちが献血をする人

数が年々減ってきています。三重県で

は、10代で献血をした人が、10年前と

比べ、約3分の1になっています。

輸血に必要な血液を、いつでも十分

に準備しておくには、絶えず誰かの

血液が必要です。みなさんも献血がで

きる年齢になったら、ぜひ協力してく

ださいね。

なるほど！

みんなも

わかったかな？



▲献血推進キャラクタ
けんけつちゃん

【問い合わせ】健康推進課

TEL 22・9653 FAX 22・9666